

⑱公開特許公報(A)

平3-212340

⑯Int.Cl.⁵B 65 D 5/40
5/08
5/74

識別記号

府内整理番号

⑳公開 平成3年(1991)9月17日

A 6540-3E
A 6540-3E
L 6671-3E

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全14頁)

㉑発明の名称 容器

㉒特 願 平1-341639

㉓出 願 平1(1989)12月29日

㉔発明者 川尻 僚一 東京都新宿区市谷加賀町1丁目1番1号 大日本印刷株式会社内

㉕発明者 関野 均 東京都新宿区市谷加賀町1丁目1番1号 大日本印刷株式会社内

㉖出願人 大日本印刷株式会社 東京都新宿区市谷加賀町1丁目1番1号

㉗代理人 弁理士 石川 泰男 外1名

明細書

パネル間に折り込んで重合接着され形成されていることを特徴とする請求項1記載の容器。

1. 発明の名称

容器

2. 特許請求の範囲

1. 互いに対向する1組の広幅の胴パネルと1組の狭幅の胴パネルとからなり横断面形状が長方形の直方体胴部と、該直方体胴部の一方の開口端部に形成されたゲーベルトップ型の頂部閉鎖部と、前記直方体胴部の他方の開口端部に形成された底部閉鎖部とを有する容器において、

前記頂部閉鎖部に前記直方体胴部の横断面長方形の短辺と平行な中央積層リブが形成されていることを特徴とする容器。

2. 前記中央積層リブは、前記広幅の胴パネルに連設した1組の妻パネルの上端部の内側リブパネルをそれぞれ1つ折りあるいは3つ折りのいずれかの折り込み状態で、前記狭幅の胴パネルに連設された1組の屋根パネルの上端部の外側リブ

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、横断面形状長方形の直方体胴部とゲーベルトップ型の頂部閉鎖部を有する容器に関する。

(従来の技術)

近年、種々の飲料用容器として、ゲーベルトップ型の頂部閉鎖部を有するラミネート紙製容器が使用されている。このような容器としては、容器胴部の横断面形状が正方形のものと長方形のものとがある。一般に、後者は前者に比べて比較的容量の大きな容器である。これは、一つとして、容器の高さに制限がある状態で容量を増大する場合、前者では胴部の幅も増大することとなり、容器の取扱い(把持)に不便が生じるが、容器の一方向の幅はそのままに他の方向の幅のみ拡大する場合(後者の場合)は、容器の把握が容易であること

による。第22図は、このうち容器胴部の横断面形状が長方形の容器の一例を示す斜視図であり、容器101は胴部102とゲーベルトップ型の頂部閉鎖部105とを有する。胴部102は互いに対向する1組の狭幅の胴パネル103、103と1組の広幅の胴パネル104、104とからなり長方形の横断面形状を有する直方体胴部である。そして、ゲーベルトップ型の頂部閉鎖部105は、胴パネル104、104と平行、すなわち胴部の横断面長方形の長辺と平行な中央積層リブ106を有している。中央積層リブ106は胴パネル104、104に連設した屋根パネル107、107の上端部が重合接着されたものである。この容器101に充填された飲料の注出は、図示例のように屋根パネル107に設けられた注出口108のキャップを取り外してから行われる。

〔発明が解決しようとする課題〕

しかしながら、上述の容器101では、内容物を注出する際に、注出口108が配設されている屋根パネル107と連設した胴パネル104が下

— 3 —

部とを有する容器において、前記頂部閉鎖部に前記直方体胴部の横断面長方形の短辺と平行な中央積層リブが形成されているような構成とした。

〔作用〕

互いに対向する1組の広幅の胴パネルと1組の狭幅の胴パネルとからなり横断面形状が長方形の直方体胴部を有する容器のゲーベルトップ型の頂部閉鎖部に、前記横断面長方形の短辺と平行となるように中央積層リブが設けられる。これにより、狭幅の胴パネルを跨ぐようにして片手で容器を把持することができる。

〔実施例〕

以下、本発明の実施例について図面を参照して説明する。

第1図は、本発明の容器の一実施例のプランク板の展開図である。第1図において、プランク板1は広幅の胴パネル11、31と、狭幅の胴パネル51、56とを有し、胴パネル51、56はそれぞれ折り線a、bを介して胴パネル11に連設され、胴パネル31と胴パネル56とは折り線c

方となるように容器を把持する必要がある。すなわち、胴部102の広幅の胴パネル104の幅方向に亘って手を広げて把持する必要があるが、比較的大きな容器で内容物がかなり残っている状態では、容器をこのように把持することが難しいという問題がある。

本発明は、上述したような事情に鑑み創案されたものであり、容器胴部の横断面形状が長方形であって、頂部閉鎖部がゲーベルトップ型の容器でありながら、内容物を注出する際の容器把持がきわめて容易であるとともに、形状的にユニークで他の容器との識別が容易な容器を提供することを目的とする。

〔課題を解決するための手段〕

このような目的を達成するために、本発明は互いに対向する1組の広幅の胴パネルと1組の狭幅の胴パネルとからなり横断面形状が長方形の直方体胴部と、該直方体胴部の一方の開口端部に形成されたゲーベルトップ型の頂部閉鎖部と、前記直方体胴部の他方の開口端部に形成された底部閉鎖

— 4 —

部とを有する容器において、前記頂部閉鎖部に前記直方体胴部の横断面長方形の短辺と平行な中央積層リブが形成されているような構成とした。

を介して連設され、また胴パネル51には折り線dを介して接着フラップ71が連設されている。このような胴パネル11、31、51、56を折り線a、b、cで折り、接着フラップ71を折り線dで折って接着フラップ71を胴パネル31に接着することにより胴部が形成される。この胴部は、胴パネル11、31の幅が胴パネル51、56よりも大きいことから、その横断面形状が長方形を示す直方体である。

そして、各胴パネルの上端および下端には、それぞれ頂部閉鎖部を構成する妻パネルP₁、P₂、屋根パネルP₃、P₄と、底部閉鎖部を構成する底部閉鎖パネルT₁、T₂、T₃、T₄とが連設されている。すなわち、胴パネル11の上端には山折り線eを介して前折り込みパネル12が連設され、この前折り込みパネル12には谷折り線f、gを介して横折り込みパネル13、14が連設されている。また、前折り込みパネル12には谷折り線hを介して前折り返しパネル15が連設され、この前折り返しパネル15には山折り線i、jを

— 5 —

— 6 —

介して横折り返しパネル 16, 17 が連設されている。横折り返しパネル 16, 17 は、また谷折り線 k, l を介してそれぞれ横折り込みパネル 13, 14 にも連設されている。さらに、横折り込みパネル 13, 14 には山折り線 m, n を介して折り込み内側リブパネル 18, 21 がそれぞれ連設され、また横折り返しパネル 16, 17 には谷折り線 o, p を介して折り返し内側リブパネル 19, 20 がそれぞれ連設されている。この折り込み内側リブパネル 18 と折り返し内側リブパネル 19 は谷折り線 q を介し、折り込み内側リブパネル 21 と折り返し内側リブパネル 20 は谷折り線 r を介し、また折り返し内側リブパネル 19 と折り返し内側リブパネル 20 は山折り線 s を介してそれぞれ連設されている。そして、このような各パネルによって妻パネル P₁ が構成されている。

また、胴パネル 31 の上端にも、胴パネル 11 と同様にして前折り込みパネル 32、横折り込みパネル 33, 34、前折り返しパネル 35、横折り返しパネル 36, 37、折り込み内側リブパネ

- 7 -

みパネル 63 には谷折れ線 y, z を介して下部横折り返しパネル 64, 65 が連設されて底部閉鎖パネル T₃ が構成されている。同様にして胴パネル 56 にも下部折り込みパネル 66、下部横折り返しパネル 67, 68 が連設されて底部閉鎖パネル T₄ が構成されている。そして、底部閉鎖パネル T₁ は折り線 a'', b'' を介して底部閉鎖パネル T₃, T₄ に連設され、底部閉鎖パネル T₂ は折り線 c'' を介して底部閉鎖パネル T₄ に連設されて底部閉鎖部が構成されている。なお、底部閉鎖パネル T₃ には折り線 d'' を介して接着フランプ 71b が連設されている。

第6図は、第1図に示されるプランク板1を各折り線で折り曲げて形成される容器の頂部閉鎖部の形成途中の状態を示す平面図であり、第10図は斜視図である。第6図および第10図において、妻パネル P₁ の折り込み内側リブパネル 18, 21 および折り返し内側リブパネル 19, 20 は山折り線 s、谷折り線 q, r の各先端部を折り頂点 A, B, C としてそれぞれ谷折り線 q, r、山

ル 38, 41、折り返し内側リブパネル 39, 40 がそれぞれ連設されて妻パネル P₂ が構成されている。

胴パネル 51 の上端には山折り線 v を介して傾斜パネル 52 が連設され、この傾斜パネル 52 には谷折り線 w を介して外側リブパネル 53 が連設されて屋根パネル P₃ が構成されている。同様に胴パネル 56 の上端に傾斜パネル 57 と外側リブパネル 58 とが連設されて屋根パネル P₄ が構成されている。そして、妻パネル P₁ は折り線 a', b' を介して屋根パネル P₃, P₄ に連設され、妻パネル P₂ は折り線 c' を介して屋根パネル P₄ に連設されて頂部閉鎖部が構成されている。なお、屋根パネル P₃ には折り線 d' を介して接着フランプ 71a が連設されている。

さらに、胴パネル 11, 31 には、それぞれ山折り線 x を介して下部パネル 61, 62 が連設されて底部閉鎖パネル T₁, T₂ が構成されている。また、胴パネル 51 には山折り線 x を介して下部折り込みパネル 63 が連設され、この下部折り込

- 8 -

折り線 s で 3つ折りされ、屋根パネル P₃, P₄ の外側リブパネル 53, 58 間に折り込まれている。また、妻パネル P₂ の折り込み内側リブパネル 38, 41 および折り返し内側リブパネル 39, 40 も同様に 3つ折りされ、屋根パネル P₃, P₄ の外側リブパネル 53, 58 間に折り込まれている。そして、第14図に示されるように、外側リブパネル 53, 58 により各内側リブパネルを重合接着することにより中央積層リブ R が形成される。この場合、妻パネル P₁ の各内側リブパネルと妻パネル P₂ の各内側リブパネルとは、相互に重なり合うことはない。

第2図は、本発明の容器の他の実施例のプランク板の展開図である。第2図において、プランク板2は上記のプランク板1と同様に広幅の胴パネル 11, 31 と、狭幅の胴パネル 51, 56 とを有し、胴パネル 51, 56 はそれぞれ折り線 a, b を介して胴パネル 11 に連設され、胴パネル 31 と胴パネル 56 とは折り線 c を介して連設され、また胴パネル 51 には折り線 d を介して接着

- 9 -

- 10 -

フランク板 2 と上記のフランク板 1 との相違は、妻パネル P' 1 , P' 2 と妻パネル P 1 , P 2 とが異なる点である。まず、妻パネル P' 1 は、妻パネル P 1 の折り込み内側リブパネル 18 , 21 と折り返し内側リブパネル 19 , 20 に相当する折り込み内側リブパネル 22 , 25 と折り返し内側リブパネル 23 , 24 を備えているが、この各内側リブパネル 22 , 23 , 24 , 25 の上端辺は図示のように直線状態となるように構成されている。また、妻パネル P' 2 は、胴パネル 31 の上端に山折り線 e' を介して前折り込みパネル 42 が連設され、この前折り込みパネル 42 には谷折り線 f' , g' を介して横折り込みパネル 43 , 44 が連設され、さらに、横折り込みパネル 43 , 44 には谷折り線 m' , n' を介して内側リブパ

- 11 -

込まれている。そして、第 15 図に示されるように、外側リブパネル 53 , 58 により内側リブパネルを重合接着することにより中央積層リブ R が形成される。この場合、妻パネル P' 1 の各内側リブパネルと妻パネル P' 2 の各内側リブパネルとは、相互に重なり合うことはない。

第 3 図は、本発明の容器の他の実施例のフランク板の展開図である。第 3 図において、フランク板 3 は上記のフランク板 1 と同様に広幅の胴パネル 11 , 31 と、狭幅の胴パネル 51 , 56 とを有し、胴パネル 51 , 56 はそれぞれ折り線 a , b を介して胴パネル 11 に連設され、胴パネル 31 と胴パネル 56 とは折り線 c を介して連設され、また胴パネル 51 には折り線 d を介して接着フランク板 71 が連設されている。そして、各胴パネルの上端、下端には頂部閉鎖部を構成する妻パネル P 5 , P 6 、屋根パネル P 3 , P 4 と、底部閉鎖部を構成する底部閉鎖パネル T 1 , T 2 , T 3 , T 4 とが連設されている。このフランク板 3 と上記のフランク板 1 との相違は、妻パネル

ネル 45 , 46 がそれぞれ連設されて構成されている。また、内側リブパネル 45 と内側リブパネル 46 は谷折り線 s' を介して相互に連設されている。そして、横折り込みパネル 43 は折り線 c' を介して屋根パネル P 4 と連設して頂部閉鎖部が構成されている。

第 7 図は、第 2 図に示されるフランク板 2 を各折り線で折り曲げて形成される容器の頂部閉鎖部の形成途中の状態を示す平面図であり、第 11 図は斜視図である。第 7 図および第 11 図において、妻パネル P' 1 の折り込み内側リブパネル 22 , 25 および折り返し内側リブパネル 23 , 24 は山折り線 s 、谷折り線 q , r の各先端部を折り頂点 A , B , C としてそれぞれ谷折り線 q , r 、山折り線 s で 3 つ折りされ、屋根パネル P 3 , P 4 の外側リブパネル 53 , 58 間に折り込まれている。また、妻パネル P' 2 の内側リブパネル 45 , 46 は谷折り線 s' の先端部を折り頂点 D として谷折り線 s' で 1 つ折りされ、同じく屋根パネル P 3 , P 4 の外側リブパネル 53 , 58 間に折り

- 12 -

P 5 , P 6 と妻パネル P 1 , P 2 とが異なる点である。まず、妻パネル P 5 は、胴パネル 11 に連設され胴パネルと同一平面上にある妻板 81 を有し、この妻板 81 の上端に山折り線 e , f を介して前折り込みパネル 82 , 83 が連設され、この前折り込みパネル 82 , 83 には谷折り線 g , h を介して横折り込みパネル 84 , 85 が連設されるとともに、谷折り線 i , j を介して折り返しパネル 86 , 87 が連設されている。この折り返しパネル 86 , 87 は山折り線 k を介して相互に連設されている。さらに、横折り込みパネル 84 , 85 には山折り線 l , m を介して内側リブパネル 88 , 89 がそれぞれ連設されて構成されている。また、妻パネル P 6 も妻パネル P 5 と同様にして、妻板 91 、前折り込みパネル 92 , 93 、横折り込みパネル 94 , 95 、折り返しパネル 96 , 97 および内側リブパネル 98 , 99 がそれぞれ連設されて構成されている。そして、妻パネル P 5 は折り線 a' , b' を介して屋根パネル P 3 , P 4 に連設され、妻パネル P 6 は折り線 c' を介

- 13 -

- 14 -

して屋根パネル P_4 に連設されて頂部閉鎖部が構成されている。

第8図は、第3図に示されるプランク板3を各折り線で折り曲げて形成される容器の頂部閉鎖部の形成途中の状態を示す平面図であり、第12図は斜視図である。第8図および第12図において、妻パネル P_5 は、山折り線kの先端部を折り頂点Aとし、谷折り線g, iおよび山折り線lの交点を折り頂点Bとし、谷折り線h, jおよび山折り線mの交点を折り頂点Cとして3つ折りされ、内側リブパネル P_8 , P_9 は屋根パネル P_3 , P_4 の外側リブパネル P_{53} , P_{58} 間に折り込まれている。また、妻パネル P_6 の内側リブパネル P_{98} , P_{99} も同様に屋根パネル P_3 , P_4 の外側リブパネル P_{53} , P_{58} 間に折り込まれている。そして、第12図に示されるように、外側リブパネル P_{53} , P_{58} により内側リブパネルを重合接着することにより中央積層リブRが形成される。この場合、妻パネル P_5 の各内側リブパネルと妻パネル P_6 の各内側リブパネルとは、相互に重なり合うことは

- 15 -

部閉鎖部を構成する底部閉鎖パネル T_1 , T_2 , T_3 , T_4 とが連設されている。このプランク板4と上記のプランク板1との相違は、妻パネル P_7 , P_8 、屋根パネル P_9 , P_{10} と、上記妻パネル P_1 , P_2 、屋根パネル P_3 , P_4 とが異なる点である。妻パネル P_7 は、胴パネル P_{11} の上端に山折り線eを介して前折り込みパネル P_{26} が連設され、この前折り込みパネル P_{26} には谷折り線f, gを介して横折り込みパネル P_{27} , P_{28} が連設され、さらに、横折り込みパネル P_{27} , P_{28} には山折り線m, nを介して内側リブパネル P_{29} , P_{30} がそれぞれ連設されて構成されている。また、内側リブパネル P_{29} と内側リブパネル P_{30} は谷折り線sを介して相互に連設されている。また、妻パネル P_8 も同様に前折り込みパネル P_{36} 、横折り込みパネル P_{37} , P_{38} および内側リブパネル P_{39} , P_{40} が連設されて構成されている。

屋根パネル P_9 は、胴パネル P_{11} の上端に山折り線mを介して傾斜パネル P_{54} が連設され、この傾斜パネル P_{54} に谷折り線wを介して外側リブパ

ない。そして、第16図から明らかなように、ゲーベルトップ型の頂部閉鎖部は妻板 P_1 , P_9 がそれぞれ胴パネル P_{11} , P_{31} に連設され、かつ胴パネルと同一平面上にあり、このため屋根パネル P_3 , P_4 の傾斜パネル P_{52} , P_{57} の下方に妻パネル P_5 , P_6 により形成される凹部（第10図、第11図参照）が存在しない。したがって、頂部閉鎖部のヘッドスペースがより増加したものとなっている。

第4図は、本発明の容器の他の実施例のプランク板の展開図である。第4図において、プランク板4は上記のプランク板1と同様に広幅の胴パネル P_{11} , P_{31} と、狭幅の胴パネル P_{51} , P_{56} とを有し、胴パネル P_{51} , P_{56} はそれぞれ折り線a, bを介して胴パネル P_{11} に連設され、胴パネル P_{31} と胴パネル P_{56} とは折り線cを介して連設され、また胴パネル P_{51} には折り線dを介して接着フラップ F_1 が連設されている。そして、各胴パネルの上端、下端には頂部閉鎖部を構成する妻パネル P_7 , P_8 、屋根パネル P_9 , P_{10} と、底

- 16 -

部閉鎖部を構成する底部閉鎖パネル T_1 , T_2 , T_3 , T_4 とが連設されている。同様に胴パネル P_{56} の上端に傾斜パネル P_{59} と外側リブパネル P_{60} とが連設されて屋根パネル P_{10} が構成されている。そして、妻パネル P_7 は折り線a', b'を介して屋根パネル P_9 , P_{10} と連設し、妻パネル P_8 は折り線c'を介して屋根パネル P_{10} と連設して頂部閉鎖部が構成されている。

そして、本実施例では、各折り線a', b', c', d'が、対応する各折り線a, b, c, dの延長線に対して所定の角度θだけ開いて延びている点で上記の実施例と異なる。この所定角度θは、谷折り線wの長さと、谷折り線mと谷折り線nの長さの和とが等しくなるように設定された角度である。

第9図は、第4図に示されるプランク板4を各折り線で折り曲げて形成される容器の頂部閉鎖部の形成途中の状態を示す平面図であり、第13図は斜視図である。第9図および第13図において、妻パネル P_7 の内側リブパネル P_{29} , P_{30} は谷折り線sの先端部を折り頂点Eとして谷折り線sで

- 17 -

- 18 -

1つ折りされ、屋根パネル P_9 , P_{10} の外側リブパネル 55 , 60 間に折り込まれている。また、妻パネル P_8 の内側リブパネル 39 , 40 も同様に谷折り線 s' の先端部を折り頂点 E' として谷折り線 s' で1つ折りされ、屋根パネル P_9 , P_{10} の外側リブパネル 55 , 60 間に折り込まれている。そして、第17図に示されるように、外側リブパネル 55 , 60 により内側リブパネルを重合接着することにより中央積層リブRが形成される。この時、上述したように谷折り線wの長さと、谷折り線mと谷折り線nの長さの和とが等しくなるように設定されているため、折り頂点E, E' が当接するようにして重合接着される。したがって、中央積層リブRの長さは、各胴パネル 11 , 31 , 51 , 56 の幅の総和L（胴部の周囲長さ）の略 $1/4$ となる。

さらに、第5図は、本発明の容器の他の実施例のプランク板の展開図である。第5図において、プランク板5は上記のプランク板2と同様に広幅の胴パネル 11 , 31 と、狭幅の胴パネル 51 ,

— 19 —

り線 s を介して相互に連設されている。

第18図は、第5図に示されるプランク板5を各折り線で折り曲げて形成される容器の頂部閉鎖部の形成途中の状態を示す斜視図である。第18図において、妻パネル P''_1 の内側リブパネル 15 , 16 は谷折り線 s の先端部を折り頂点Fとして谷折り線 s で1つ折りされ、屋根パネル P_3 , P_4 の外側リブパネル 53 , 58 間に折り込まれている。また、妻パネル P''_2 の内側リブパネル 45 , 46 も同様に谷折り線 s' の先端部を折り頂点F' として谷折り線 s' で1つ折りされ、屋根パネル P_3 , P_4 の外側リブパネル 53 , 58 間に折り込まれている。そして、外側リブパネル 53 , 58 により各内側リブパネルを重合接着することにより中央積層リブが形成される。この実施例では、1つ折りされ外側リブパネル 53 , 58 間に折り込まれた内側リブパネル 15 , 16 と内側リブパネル 45 , 46 とが相互に重なるようにして重合接着されている。

上述の各実施例においては、その底部閉鎖部の構

56とを有し、胴パネル 51 , 56 はそれぞれ折り線 a , b を介して胴パネル 11 に連設され、胴パネル 31 と胴パネル 56 とは折り線 c を介して連設され、また胴パネル 51 には折り線 d を介して接着フランプ 71 が連設されている。そして、各胴パネルの上端、下端には頂部閉鎖部を構成する妻パネル P''_1 , P''_2 、屋根パネル P_3 , P_4 と、底部閉鎖部を構成する底部閉鎖パネル T_1 , T_2 , T_3 , T_4 とが連設されている。このプランク板5と上記のプランク板2との相違は、妻パネル P''_1 と上記の妻パネル P'_1 とが異なる点である。すなわち、妻パネル P''_1 は妻パネル P'_2 と同様の構成であり、胴パネル 11 の上端に山折り線eを介して前折り込みパネル 12 が連設され、この前折り込みパネル 12 には谷折り線f, gを介して横折り込みパネル 13 , 14 が連設され、さらに、横折り込みパネル 13 , 14 には谷折り線m, nを介して内側リブパネル 15 , 16 がそれぞれ連設されて構成されている。また、内側リブパネル 15 と内側リブパネル 16 は谷折

— 20 —

成は同一であり、第19図に示されるように構成されている。第19図において、底部閉鎖パネル T_3 は、山折り線x、谷折り線y, zで下部折り込みパネル 63 、下部横折り返しパネル 64 , 65 がそれぞれ折られて底部閉鎖パネル T_1 , T_2 の下部パネル 61 , 62 間に折り込まれ、同様に底部閉鎖パネル T_4 の下部折り込みパネル 66 、下部横折り返しパネル 67 , 68 がそれぞれ折られて底部閉鎖パネル T_1 , T_2 の下部パネル 61 , 62 間に折り込まれている。そして、下部パネル 62 上に下部パネル 61 を重ねるようにして両下部パネルを胴パネル、 11 , 31 に直角に折り曲げて重合接着することにより底部閉鎖部が構成される。

また、本発明の容器は、頂部閉鎖部に公知の種々の注出口が設けられていてもよい。第20図は、第1図に示された実施例を例に、その屋根パネル P_3 の傾斜パネル 52 に設けられた注出口の一例を示す斜視図である。第20図において、注出口 201 は傾斜パネルに固定するためのフランジ

— 21 —

— 22 —

部 205 を周辺下部に備えた基部 202 と、基部 202 に設けられた開閉部 203 と、開閉部 203 の一端に配設された引張り部材 204 とを有している。第 21 図は第 20 図に示された注出口 201 の XII-XII 線における縦断面図であり、基部 202 はフランジ部 205 を介して傾斜パネル 52 に固定され、この基部 202 と開閉部 203 は、開閉部 203 の周辺部に形成された肉薄部分 206 を介して一体化されている。そして、注出時に引張り部材 204 を引張ることにより、肉薄部分 206 のうち開閉部 203 の回動基部となる肉薄部分 206a を除いた他の肉薄部分 206b が引き裂かれて開閉部 203 が開放される。また、一度開閉部 203 が開放された後、注出口 201 を閉じる場合は、開閉部 203 を基部 202 に押し込むことにより閉鎖され、この時、引張り部材 204 の突出部 204a が基部 202 の上端部 202a に当接した状態となる。

なお、本発明は上述の実施例に限定されるものではなく、頂部閉鎖部の形状、底部閉鎖部の形状

および注出口形状等は他の様式とすることができる。

〔発明の効果〕

上述したような本発明によれば、互いに対向する 1 組の広幅の胴パネルと 1 組の狭幅の胴パネルとからなり横断面形状が長方形の直方体胴部の一方の開口端部に形成されたゲーベルトップ型の頂部閉鎖部に、中央積層リブが前記横断面長方形の短辺と平行となるように設けられているため、頂部閉鎖部の屋根パネルに設けられた注出口から内容物を注出する際に狭幅の胴パネルを跨ぐようにして容器を持続することができ取扱いがきわめて容易になるという効果が奏される。

4. 図面の簡単な説明

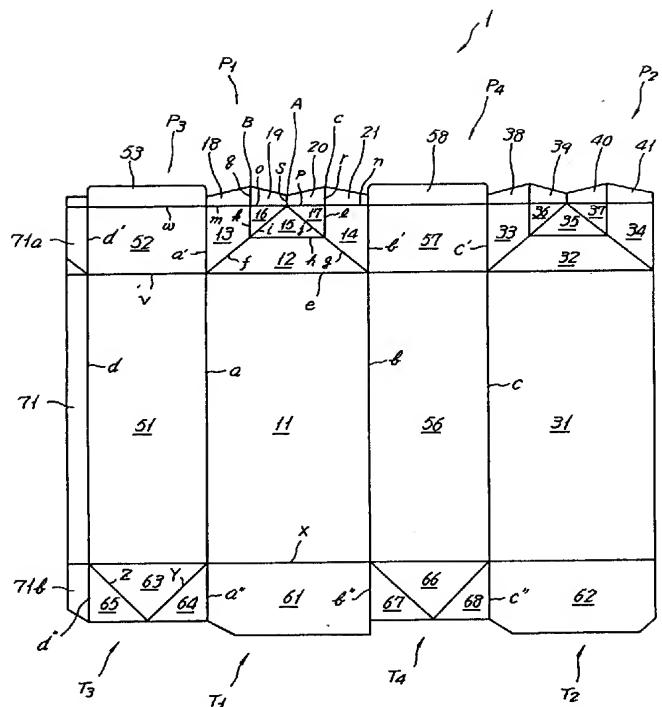
第 1 図乃至第 5 図は本発明の容器の実施例のブランク板の展開図、第 6 図乃至第 9 図はそれぞれ第 1 図乃至第 4 図に示されるブランク板を各折り線で折り曲げて形成された容器の頂部閉鎖部を示す斜視図、第 14 図乃至第 17 図はそれぞれ第 6 図乃至第 9 図に示される容器の頂部閉鎖部を示す斜視図、第 18 図は第 5 図に示されるブランク板を各折り線で折り曲げて形成された容器の頂部閉鎖部を示す斜視図、第 19 図は本発明の容器の底部閉鎖部の一例を示す斜視図、第 20 図は屋根パネルに設けられた注出口の一例を示す斜視図、第 21 図は第 20 図に示された注出口の XII-XII 線における縦断面図、第 22 図は容器胴部の横断面形状が長方形である従来の容器の一例を示す斜視図である。

11, 31 … 広幅の胴パネル、51, 56 … 狹幅の胴パネル、53, 55, 58, 60 … 外側リブパネル、P₁, P₂, P'₁, P''₁, P'₂, P₅, P₆, P₇, P₈ … 妻パネル、P₃, P₄, P₉, P₁₀ … 屋根パネル、T₁, T₂, T₃, T₄ … 底部閉鎖パネル、R … 中央積層リブ。

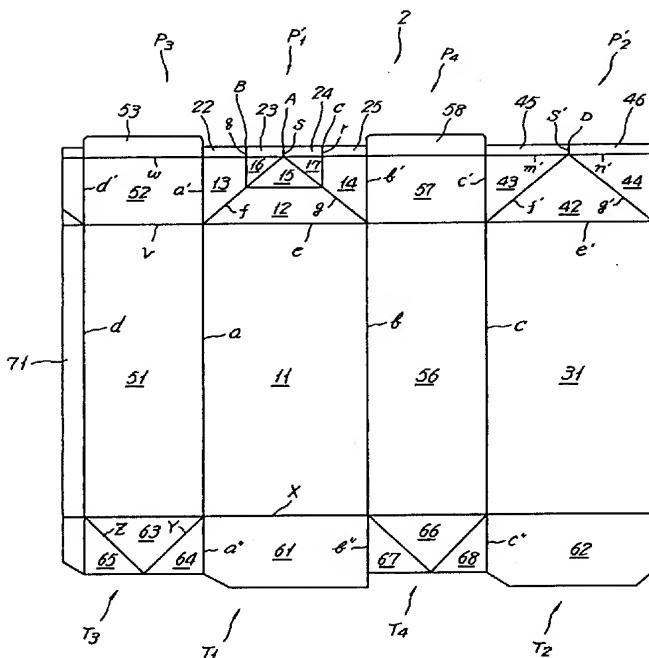
— 24 —

— 23 —

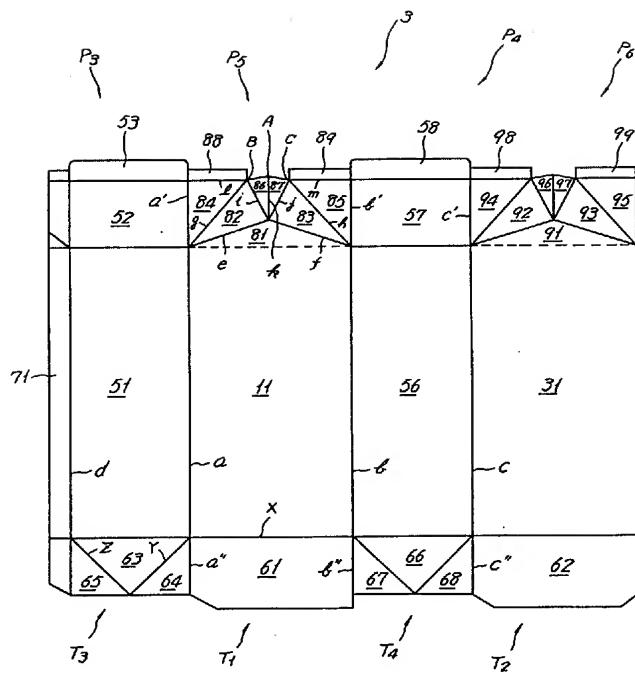
— 25 —



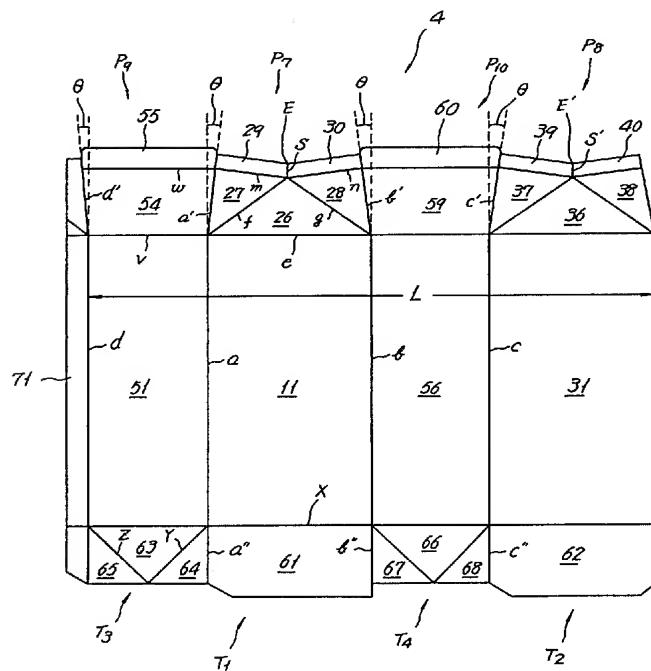
第 1 図



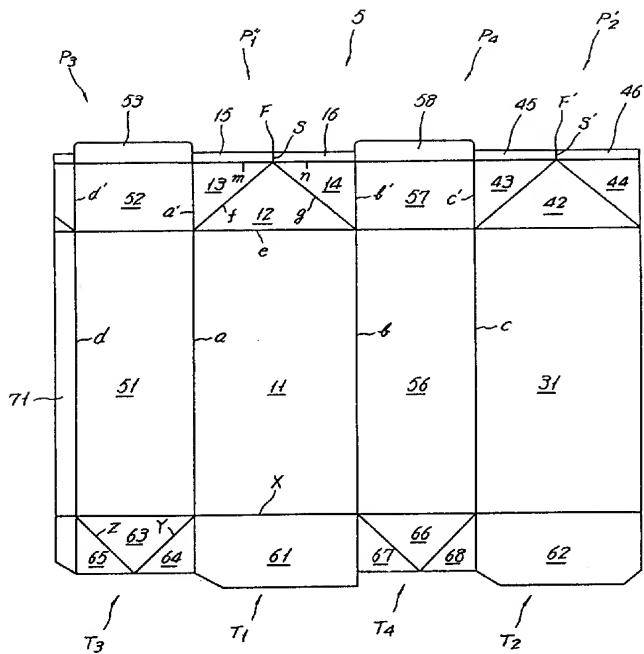
第 2 図



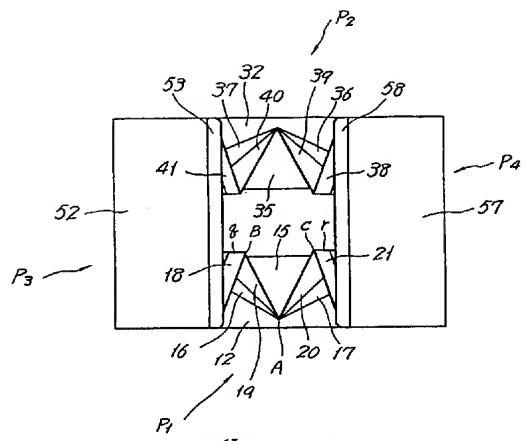
第 3 図



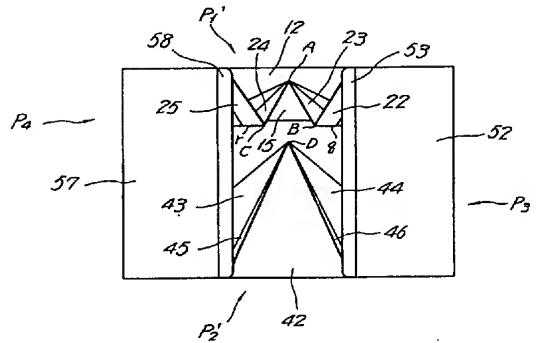
第 4 図



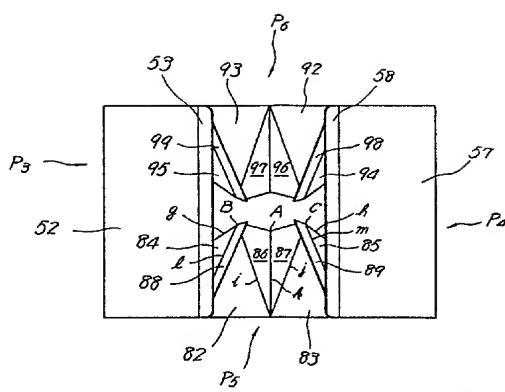
第 5 図



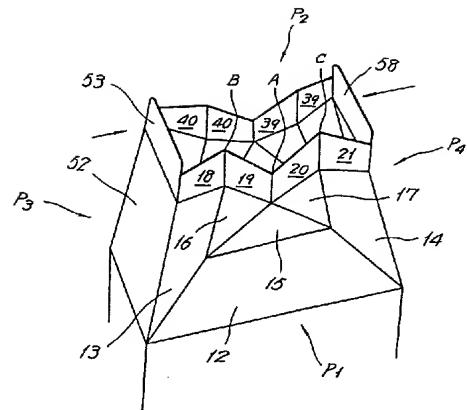
第 6 図



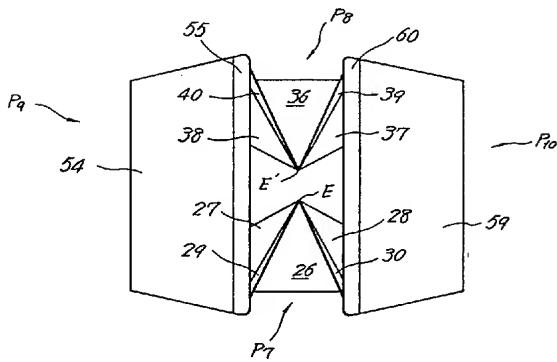
第 7 図



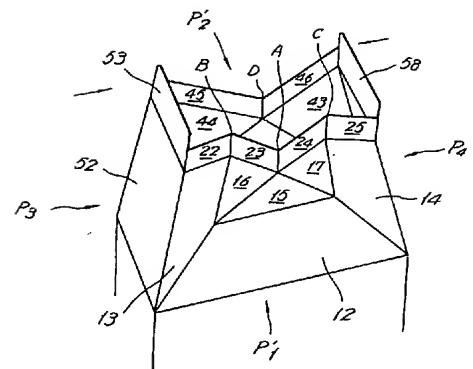
第 8 図



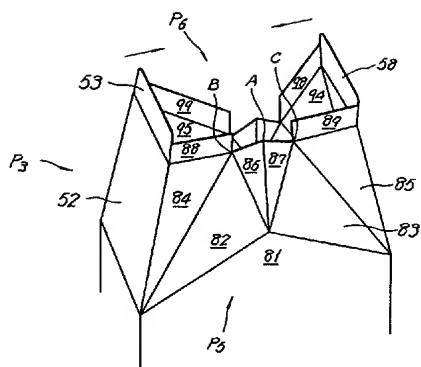
第 10 図



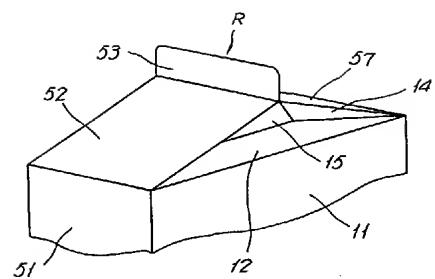
第 9 図



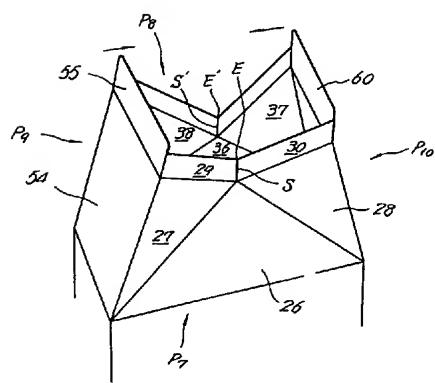
第 11 図



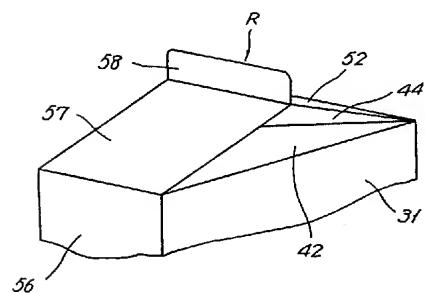
第12圖



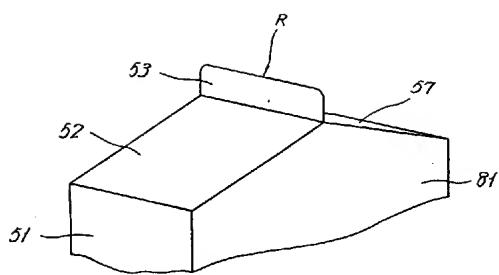
第 14 圖



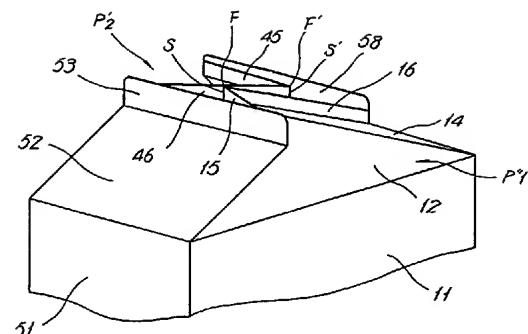
第 13 図



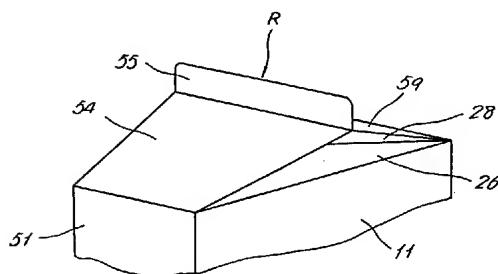
第 15 図



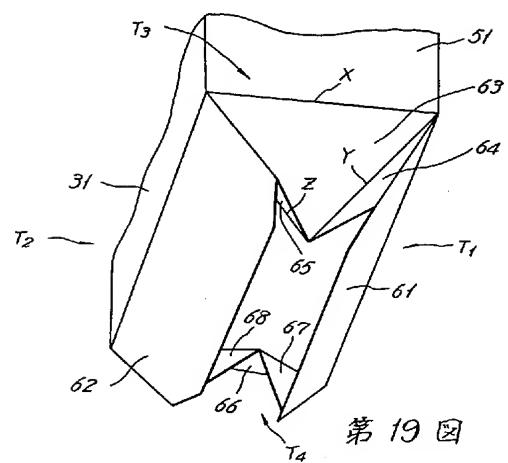
第16図



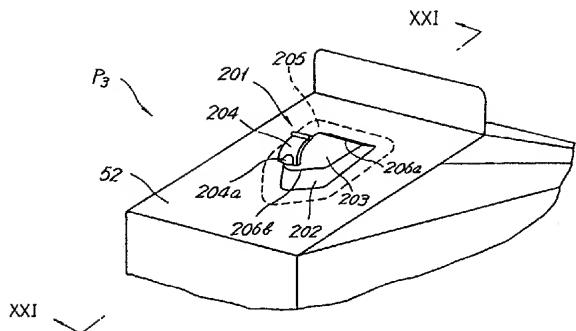
第18図



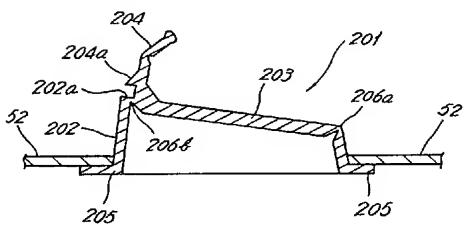
第17図



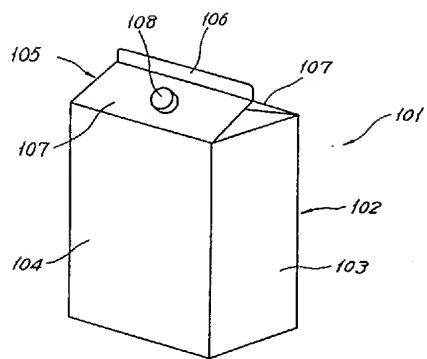
第19図



第 20 図



第 21 図



第 22 図

PAT-NO: JP403212340A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 03212340 A
TITLE: VESSEL
PUBN-DATE: September 17, 1991

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KAWAJIRI, RYOICHI	
SEKINO, HITOSHI	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
DAINIPPON PRINTING CO LTD	N/A

APPL-NO: JP01341639

APPL-DATE: December 29, 1989

INT-CL (IPC): B65D005/40 , B65D005/08 ,
B65D005/74

US-CL-CURRENT: 229/123.3 , 229/214

ABSTRACT:

PURPOSE: To easily hold a vessel to stride over the shell panel with the narrow width when the contents is discharged from the outlet provided on the roof panel with the closed apex, by providing a central laminated rib to be parallel with the shorter side of the rectangular lateral section in

a gable top type closed apex.

CONSTITUTION: While the closed apex of a vessel is formed by the folded blank plate 4 at the respective folding lines, the inner rib panels 29, 30 of a gable panel P7 are bent at the folding valley line (s) as a folding apex E at the front edge of the folding valley line (s) and folded between the outside rib panels 55, 60 of the roof panels P9, P10. And the innerside rib panels 39, 40 of the gable panel are folded in the like manner at the folding valley line (s') as a folding apex E' at the front edge of the folding valley line (s') and folded between the outside rib panels 55, 60 of the roof panels P9, P10. And the innerside rib panels are superimposed and bonded by the outerside rib panels 55, 60 to form a central laminated rib R.

COPYRIGHT: (C)1991,JPO&Japio